

## 再び日本が人気の旅行先に ～シンガポール国際旅行フェア NATAS Travel2014 に参加しました～

自治体国際化協会シンガポール事務所（以下 CLAIR）は、2014年2月28日（金）から3月2日（日）まで、「NATAS Travel 2014」の日本パビリオン内ビジットジャパンブースにおいて、日本政府観光局（JNTO）シンガポール事務所と連携し、観光PRを実施しました。昨年8月の「NATAS Holidays2013」では、日本がフェア期間中の人気旅行先第2位となり、訪日旅行意欲の回復が見られたシンガポールですが、それから半年の間にどう変化したのか報告いたします。

### 1. シンガポールの訪日旅行状況

JNTO が実施した旅行代理店への聞き取り調査によると、訪日旅行商品を大規模に取り扱う旅行代理店8社のうち6社が、前回のNATASに比べ販売額が増加したと回答しました。また、NATAS 主催事務局の発表した国別渡航先ランキングでは、前回のNATASと同様に日本はヨーロッパに次ぐ2位となり、訪日旅行商品の売れ行きは好調でした。

2013年に日本を訪れたシンガポール人は推計値で189,200人となり、2012年比33.1%増、2010年比4.5%増で過去最多を記録しました。国・地域別の訪日客数ランキングでは第9位となっています。航空会社の座席供給量の増加、円安、中部・九州・沖縄などの新規デスティネーションの露出拡大による旅行商品選択肢の増加、JNTO が航空会社などと実施した共同広告の効果などが訪日シンガポール人増加の背景であると見られています。特に2012年同期と比べおよそ20%進んでいる円安は最大の追い風であるとされ、JNTO は「お得な日本」を全面に出し、Expedia、Zuji などオンライン旅行予約サイトと連携したプロモーションを展開しています。

シンガポール現地紙は「シンガポール人が日本に再び押しよせている」という見出しで、現地旅行会社の「2013年は訪日旅行が完全に回復した年だ。シンガポール人は日本を訪れる自信を回復した。」というコメントを紹介しています。その旅行会社の日本行きパッケージ商品は2012年と比較して売上げが2倍となっているとのこと。訪日需要が高まった主な要因は円安によって下がったツアー料金であるとされ、都市部から離れた地域（沖縄、白川郷など）の人気の高まっていることも合わせて紹介されています。（2013年12月27日 THE STRAITS TIMES 「Singaporeans flocking to Japan again」より）

### 2. 日本パビリオンにおける観光PR

日本パビリオンには18団体が出展しており、そのうち自治体・関連団体は、北陸国際観光テーマ地区推進協議会、阿蘇ジオパーク推進協議会、松本観光コンベンション協会、公益社団法人北海道観光振興機構、九州観光推進機構、東海地区外国人観光客誘致促進協議会、茨城県、山国紀行、新潟市、和歌山県、東北観光推進機構/仙台市の11団体でした。

シンガポール航空が3月30日から現在1日2往復で運航するシンガポールー羽田線を1往復増やし3往復とすることを記念して、日本パビリオンにシンガポール航空の東京行き航空券を持参した来場者にサンリオピューロランドの入場券を1日先着100人にプレゼントしていました。ハローキティとの記念撮影も行われ人気を集めていました。

今回初めて参加した茨城県は、今年度から台北、シンガポールの旅行フェアに参加しています。シンガポールの旅行フェアの印象として、旅行商品を購入するために来場する客に地元をアピールするのは非常に効率が良いと感じたとのこと。来場者は、花を楽しめるひたち海浜公園、偕楽園やフルーツ狩りの情報に大変興味を示したそうです。NATAS 出展に先立ちシンガポール及び日本国内の旅行会社にセールスをしたところ茨城県内の観光地をまわるツアーが商品化され、NATAS 会場内で販売されていました。来年度は、マレーシア、タイ、シンガポールの旅行フェアに出展を予定しているそうです。



茨城県のブース

### 3. シンガポール人訪日旅行目的・ニーズ

CLAIRの職員は、ビジットジャパンカウンターにおいて来場者からの問い合わせに対応しました。訪日旅行を検討している人は日本で何を楽しみにしているのか、人気の旅行先はどこかなど来場者の声を御紹介します。

#### ■日本の桜が見たい

今回のNATASでは、桜の見ごろに合わせて訪日旅行を検討している人が目立ちました。「4月の中旬頃に行くが、どこに行けば桜が見られるか。」「東京、大阪ではいつ頃が桜の見ごろか。」という質問を多く受けました。桜の名所やおおよその開花時期をまとめたパンフレットを作成している自治体もあり、非常に喜ばれていました。

#### ■今日本を訪れることにした理由

円安は訪日旅行を決定する際にどの程度影響しているのか確かめるため、来場者に今なぜ日本を訪れることにしたのか聞いてみました。予想に反して円安のため日本に行くことにしたと答える人は少なく、「日本に行ってみたくから」、「〇〇が見たいから」と回答する人がほとんどでした。JNTOが実施した航空会社や旅行会社との共同広告、10月～12月にかけて放送された女性をターゲットとした訪日旅行番組の放送等により日本の露出が増加していること、円安により訪日旅行商品価格が下がったために旅行会社の主力商品として取り扱われ、日本を目にする機会が多くなっていることなど様々な要因があるのだと思われる。

#### ■リピーターが求めること

既に日本を訪れたことがある人が多く、「東京、大阪、北海道は行ったことがあるので、次のおすすめの場所を教えてください」、「前は冬に雪景色を見たので、今度は違う季節に行ってみいたいなど季節、土地によって異なる日本の景色や食に魅了されている人が多い印象を受けました。訪日リピーターが多く、個人旅行が主流のシンガポールでは、地域の魅力をわかりやすく伝えることができれば誘客につながる可能性が高いといえます。ビジットジャパンカウンターで接客した印象では、シンガポールでは見られない大自然（特に山の景色）、子供と楽しめるテーマパーク、四季折々の花や紅葉に惹かれる人が多いようです。



ジャパンパビリオン



世界各国の観光地を表したNATASの看板(日本は富士山)

前回日本に行った時に困ったこととして、Wi-Fi環境が整っていないこと、交通費が高いことなどが挙げられました。

#### ■来場者からの質問・要望

興味・関心のあること	来場者の要望例
旅行先	東京、大阪、北海道、箱根、鎌倉、京都、奈良、中部、九州 立山黒部アルペンルート
日本の風景・文化・伝統	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山</li> <li>・雪</li> <li>・桜</li> <li>・日本の祭が見たい</li> </ul>
食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新鮮な寿司が食べたい</li> <li>・ハラル対応のレストランの情報がほしい</li> </ul>
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライブがしたい（おすすめはどこか教えてください）</li> <li>・温泉</li> <li>・買い物</li> <li>・アニメショーに行きたい</li> </ul>
テーマパーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ディズニーランド</li> <li>・サンリオピューロランド</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シブリ美術館</li> <li>・ 藤子不二雄美術館</li> </ul>
--	--

#### 4. シンガポールからのさらなる誘客のために

2003年に9万人ほどだったシンガポールからの訪日旅行者は年々増え続け、2010年には18万人となりました。2011年の震災の影響から2011年は11万人、2012年は14万と減少しましたが、2013年に過去最多となる18万9,200人を達成しました。天災・健康問題に非常に敏感なシンガポールからの訪日旅行者が震災前を超える水準となったことは大変喜ばしいことです。

Economist Intelligence Unitが実施した調査(2014 Worldwide Cost of Living)でシンガポールは世界で最も生活費の高い都市であると発表されました(東京は第6位)。こちらで暮らしているとホテル、食品、洋服などの価格は日本よりも高く感じますが、シンガポール人の立場からは日本が价格的に気楽に旅行できる場所になりつつあります。日本は何度訪れても楽しめると感じているシンガポール人に新たな見どころや食の魅力を伝えていくことで、訪日シンガポール人はますます増加していくことでしょう。

当事務所では、今後も引き続き現地の最新情報を発信し、自治体の訪日旅行者誘致活動を支援してまいります。

#### 5. NATAS Travel 2014 概要

会期	2014年2月28日(金)～3月2日(日) 10:00～21:00
開催場所	Singapore Expo
主催	シンガポール旅行代理店協会(NATAS)
対象	一般消費者
入場料	4シンガポールドル
来場者数	54,275人(2013年2月:53,344人)
会期中の旅行商品売上総額	8000万シンガポールドル(2013年2月:8500万～9000万シンガポールドル)

(新山所長補佐 東京都大田区派遣)